



5月の園だより

令和5年5月1日
目黒区立中町保育園園長

鮮やかな新緑の中、5歳児クラスの子どもたちが絞り染めをして作った5色の鯉のぼりが元気に泳いでいます。入園、進級から1か月が過ぎ、子どもたちは少しずつ新しい環境に慣れ、保育士や友達と遊びながら笑顔がたくさん見られるようになってきました。先週、テラスで鯉のぼりを見ながら4・5歳児クラスの子どもたちが、おやつと一緒に食べました。調理職員がひと工夫して作ってくれたおやつを嬉しそうに食べ「パンがうさぎの形になっているよ」「おいしいね」「外、気持ちいい」と隣の友達と笑い合い、「ヤッホー」と風で揺れている鯉のぼりに声をかけている子どもの姿も見られ、楽しいひと時となりました。

戸外遊びが心地よい季節となり、子どもたちは園庭で裸足になってタイヤの山や砂場で遊んだり、好奇心旺盛に虫探しなどを楽しんでいます。また、異年齢の子どもたちがやりたい遊びを通して自然に関わり合いながら主体的に遊ぶ表情は、キラキラと輝いていて日々成長を感じます。

今月は、1歳児から5歳児クラスの懇談会を予定しています。各クラス、子どもたちの様子を映像でお伝えしたいと思いますので、ぜひご参加ください。

《 こいのぼり制作 》

行事予定

内科健診（全園児）
春の遠足（4・5歳児）
身体計測
避難訓練

クラス懇談会

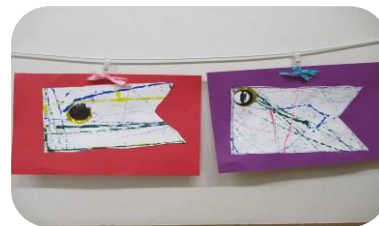
おひさま組（5歳児）
たんぼぼ組（1歳児）
ちゅうりっぷ組（2歳児）
ほし組（3歳児）
つき組（4歳児）



～2歳児～
「ラップの芯のスタンプで模様をつけたよ」



～3歳児～
「タンボヤスポットを使って模様をつけたよ」



～4歳児～
「絵の具にくぐらせたビー玉を転がして模様をつけたよ」

「当番活動での関わり」

おひさま組になると、用務職員と一緒にコット当番があります。お昼寝後に子どもたちが2人1組でコットを順番に台の上に重ねていきます。

4月はまだ重たそうに持っていました、回数を重ねるうちに気持ちを合わせて運べるようになりました。おひさま組だから出来る当番活動に喜びを感じ、小さいクラスの友達のために「やりたい」という気持ちで取り組み、お手伝いを通して責任感を持つようになっていきます。

一人ひとりの子どもの成長を感じられる大切なひと時です。

(用務)



保健室

『体調管理に気をつけましょう』

子どもたちは、新しい環境の変化や季節の変わり目で寒暖差が大きく体調を崩しやすくなります。自律神経のバランスが崩れると体調を崩すだけでなく回復にも影響を及ぼします。

早起き・早寝で生活リズムを整え、朝ご飯をしっかり食べて登園しましょう。

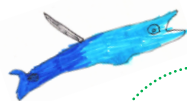
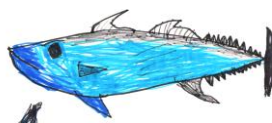
ドキドキわくわく楽しいな ～各クラスの様子～

もも組（0歳児）

天気の良い日は、保育室の隣にある広いテラスで遊んでいます。ハイハイをして体を動かしたり、保育士の膝の上に座り、わらべうたなどの触れ合い遊びも楽しんでいます。「馬は、としとし」と歌いながら保育士が膝を動かし、子どもの体が揺れると、嬉しそうな表情を見せたり、そばにいた子どもも友達がやってもらっている様子を笑顔で見ている姿もあります。日々の関わりの中で、心を通わせ、人と触れ合う心地よさをたくさん感じていけるようにしていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組（2歳児）

1人の子どもが仕切り板で家を作っていると、2～3人の子どもがやってきて、「いっしょにやってもいい？」と一緒に作り始めました。友達がチェーンリングで作ったケーキを食べると、それぞれ真似をして作り、嬉しそうに食べています。保育士が「おいしそう」と言うと「先生も一緒に食べよう」と持ってきてくれました。自分の経験を再現して一緒に遊ぶ事が楽しい時期です。一人ひとりのイメージに共感し、仲立ちしながら遊んでいきたいと思います。



つき組（4歳児）

メニューを指差しながら料理を注文する友達に「分かりました、お待ちください」と答え、料理を作る役の友達のところへ行き、受けた注文を伝えています。レストランごっこでは、友達と楽しそうに話しながら料理を待っていたり、友達の注文を聞いて「それを2つください」と同じ料理を注文し一緒に食べると嬉しそうです。それぞれの役になりきり、友達とやりとりすることを楽しんでいます。これからも友達と関わり合う姿を大切に、さらに仲が深まっていくようにしていきたいと思います。

たんぽぽ組（1歳児）

「これっくらいの、おべんとうばこに」と保育士が歌い始めると、子どもたちが楽しそうに体を揺らします。お手玉をおにぎりに見立て、保育士が「いただきます」と食べる真似をすると、子どもたちも同じように真似をし、保育士と一緒に「おいしいね」と嬉しそうに笑っています。これからもいろいろな遊びを通してやりとりを楽しみながら、一人ひとりの嬉しい気持ちや楽しい気持ちに共感していきます。

ほし組（3歳児）

室内で保育士と数人の子どもが積み木で家を作って遊んでいると「せまいよ」と言い合いになりました。「こっちも作ったらどうかな」と提案してみると、そこから「お風呂も作ろうよ」「ここは寝る所ね」など次々と子どもたちのイメージが広がり、素敵な家が完成しました。子どものイメージを大事にしながらかそれぞれの思いを代弁し、自分の思いを伝え合えるように仲立ちしていきます。

おひさま組（5歳児）

昨年度のおひさま組がやっていた姿に憧れて「やってみたい」とドッジボールを始め、段々とその面白さが分かり盛り上がってきています。ボールを取ろうと躍起になっていますが、自分が当てられたとしても仲間が生き残っていればチームの勝利になることが分かり、「頑張れ！」「当てちゃえ！」「逃げて」とチームの仲間を応援しています。勝った喜び、負けた悔しさを仲間と共有することで一体感が生まれてきています。友達と協力して取り組み、楽しさを共有する経験をたくさん積み重ねていきたいと思います。